

令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校 P T A
学 校 名	静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部

1. 使用状況

寄贈物品名	ボッチャボール
使用学年及び人数	高等部1～3年生
使用頻度	月3回～6回程度
使用状況	主に、保健体育の授業(朝のトレーニング含む)にて使用。 保健体育の授業では、学年毎、チームを分けて、競技を実施。 レクリエーション活動や休み時間にも使用。
物品の使用による変化や効果	パラリンピックやボッチャ競技への啓発、興味関心にもつながった。 回数を重ねる毎に、生徒同士、投げ方や狙う位置等を自分自身で良く考えたり、チーム内の仲間と相談したりする意欲的かつ主体的活動になっていった。 生徒がボッチャをレクリエーション企画にしたり、休み時間に自主的に行ったりして楽しむ姿が見られた。
今後の活用の見通しや課題	継続的に活用を行い、来年度のパラリンピックに向け、更に関心を高めていきたい。 ボッチャ大会を実施する等、生徒がより技術や戦術を駆使しチームプレイの向上をねらえる機会を設けたい。 生徒全員が十分行えるような環境を整えていくことが課題となる。また、コロナ禍において、学校行事等の兼ね合いもあり、十分な実施ができなかったため、来年度以降、計画的、効果的に実施していきたい。
その他希望や所感など	様々な実態の生徒が在籍する中で、ボッチャは生徒全員が楽しむことができ、行えば行うほど奥深さと上達を生徒たちが仲間と実感することができた。 多くの生徒から「とても、楽しかった！またやりたい！」という声が出る競技は、大変教育的効果が高いと感じている。

2. 活用の様子



生徒からの感想

- とても楽しかったです。またやりたいです。(多数の生徒より)
- ポッチャ大会をやりたいです。
- 強く投げたせいで通り過ぎたり、また弱ければ勢いがなく止まってしまうことが分かりました。強弱をつけることと作戦を練ってやってみるともっと楽しくなると感じました。
- ルールが分かりました。
- 簡単で誰にでもできることが楽しさの魅力だと思います。
- ボールが思ったより重かったです。投げる時にボールの強さを調節するのがすごく難しかったです。
- 投げ方が良かったのか分かりませんが、勝てて良かったです。
- 計算してたことと違うところにボールがいつてしまって計算ミスをして悲しかったです。でも、またやりたいです。
- 最初は難しかったけれど、みんなとやって協力できて楽しかったです。
- ボールが小さいけど、少し重くて投げる時、距離が思ったより飛ばなくて難しいなと思いました。難しかったけど、奥深かったのも、またやりたいです。
- ボールが重くて結構転がるので、中々思ったところに止まらなかったけれど、白いボールの近くに自分のチームが止まった時はうれしかったです。難しかったけど、おもしろかったです。
- ポッチャは今までに何回かやってつまらないかと思っていたけど、予想以上に楽しかった。
- やってみると難しかったです。力加減が難しくうまくできませんでした。